大会名称: 第20回東北大学バスケットボールリーグ
兼全日本大学バスケットボール選手権大会 東北地区予選会

開催場所: 東北学院大学 泉キャンパス体育館

試合区分: No. 1A2　1次リーグ　コミッショナー: 佐々木桂二

期　日: 2019(R01)年9月1日 (日)　主審: 山田 俊

開始時間: 13:30　副審: 水木 順仁　伊藤 睦哲

終了時間:

富士大学	○		●	青森中央学院大学
(一部4位)	91	22 -st1- 22 29 -2nd- 24 14 -3rd- 21 26 -4th- 22 -OT1- -OT2- -OT3-	89	(一部5位)

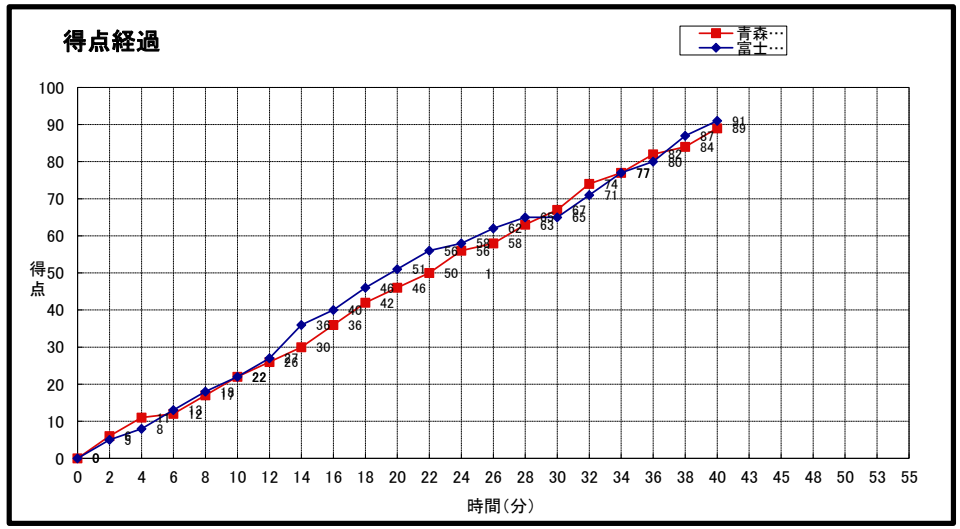
富士大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG M	3P FG A	2P FG M	2P FG A	FT M	FT A	PF TF	REBOUNDS OR	REBOUNDS DR	REBOUNDS TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
25	*	松本 航	12	2	3	3	4	0	0	0	2	3	5	0	0	0	0	
1	*	今井 湧也	11	0	0	5	8	1	1	0	1	6	7	0	1	0	0	
2	*	吉田 慧冬	3	1	1	0	2	0	0	0	3	1	4	0	3	0	0	
8		菅原 勝太	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
11		中村 宏大	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
12		大山 アレックス アンソニー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
18	*	三浦 大和	27	1	12	9	11	6	7	0	0	2	2	0	0	0	0	
19		大森 郁夫	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
22		鳥潟 練	3	0	2	1	3	1	2	0	1	2	3	0	2	0	0	
24		金 垈楹	16	0	0	8	17	0	0	0	3	2	5	0	1	0	0	
26	*	柏城 響	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
32		奥 大和	11	2	6	2	6	1	2	0	3	2	5	0	2	0	0	
33		葛西 誉紀	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
0		佐藤 裕斗	8	0	0	3	8	2	2	0	4	1	5	0	0	0	0	
OO		菅原 綾真	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	
TEAM																		
		合　計	91	6	27	31	60	11	14	0	18	19	37	0	9	0	0	0:00
					22.2%		51.7%		78.6%									

青森中央学院大学

NO.	S	選手名	PTS	3P FG M	3P FG A	2P FG M	2P FG A	FT M	FT A	PF TF	REBOUNDS OR	REBOUNDS DR	REBOUNDS TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
17	*	金田 渓吾	13	0	1	6	11	1	3	0	3	0	3	0	0	0	0	
1		上野 琉聖	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
2	*	花田 辰真	9	2	4	1	9	1	2	0	1	6	7	0	6	0	0	
3		吉沢 俊輝	17	3	9	4	6	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	
6		高橋 優太	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
7	*	三浦 光	29	1	2	12	13	2	2	0	2	1	3	0	4	0	0	
11		小林 楓	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
12		長利 海	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
15		高橋 幹太	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
16	*	菊地 哲平	0	0	0	0	3	0	0	0	4	1	5	0	1	0	0	
19	*	石川 祐貴	21	1	1	8	21	2	6	0	7	9	16	0	3	0	0	
37		佐藤 大哉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
TEAM																		
		合　計	89	7	17	31	63	6	15	0	18	17	35	0	14	0	0	0:00
					41.2%		49.2%		40.0%									

PST: ポイント　FG: フィールドゴール　F: ファール　TO: ターンオーバー　MIN: 出場時間
M: 成功　3P: 3ポイントシュート　OR: オフェンスリバウンド　AS: アシスト　S: スターター
A: 試投　2P: 2ポイントシュート　DR: ディフェンスリバウンド　ST: スティール　OT: 延長
%: シュート率　FT: フリースロー　TOT: トータルリバウンド　BS: ブロックショット



ゲームレポート

○第1ピリオド　出だしから、両チームドライブやドライブからの合わせで積極的にシュートを狙い得点を挙げていく。青森中央学院大は、プレッシャーをかけられても、粘り強いパワープレーでファールをもらったり、オフェンスリバウンドからシュートを決めていく。富士大はプレッシャーをかけて厳しくディフェンスするが、青森中央学院大のスピードに足がついていかず、手が出てしまい序盤からファールが多くなってしまう。お互いにシュートを決めて決められてという展開で、1ピリオドは同点の22－22で終了。
○第2ピリオド　青森中央学院大は序盤から富士大の激しいオールコートディフェンスに対しうまく対応できずターンオーバーが続いてしまう。しかし、だんだん対応し、フロントコートに入ると、ドライブやスクリーンプレーでうまくずれを作り得点していく。一方富士大は、ドライブからの合わせや、オフェンスリバウンドを取ってゴール下のシュートなどで得点を重ねていくが、1ピリオド同様ファールが多く、フリースローチャンスを多く与えてしまったり、ディフェンスの詰めが甘くシュートを決められ、なかなか点差を広げられず、46－51で2ピリオド終了。
○第3ピリオド 出だしから、青森中央学院大は積極的にドライブを仕掛けたり、オフェンスリバウンドから得点して点差を詰めていくが、中盤から相手のディフェンスに引っかかり始め、ディフェンスでもリバウンドからのセカンドチャンスを何度も作られ、流れをものにできない。富士大はシュートの確立が悪く、パスミスなどで相手に速攻を許し、逆転される。終盤お互いミスが多くなる。そのまま3ピリオドは65－67で青森中央学院大が逆転し終了。
○第4ピリオド　青森中央学院大は＃19や＃7の3Pシュートで得点を重ね、富士大も＃24の粘り強いパワープレーで得点し、序盤から点の取り合いになる。終盤にさしかかっても、両チームディフェンスで粘りを見せ、リードを許さない。しかしラスト2分富士大がリバウンドから速攻を出しファールをもらったのを機に得点、リードする。しかし青森中央学院大も攻めを緩めず、積極的にドライブを狙い続け、ディフェンスのずれを作り攻めたが、富士大の粘り強いオフェンスリバウンドに対応できず、得点を許してしまう。結果、ワンゲームを通して、接戦だったが、富士大が粘り、89－91の接戦を制した。

担当者: ()　　東北大学バスケットボール連盟